

Agile Japan 2024

人の力を引き出すアジャイル×マネジメント

2024/11/22

株式会社MSOL Digital
Business Agile Department
鈴木 康一郎



鈴木 康一郎

Koichiro Suzuki

株式会社MSOL Digital
Business Agile Department



[業務経歴]

- 新卒入社から一貫してアジャイル支援を主とする部門に所属
- 国内の大手通信サービス会社や大手エネルギー情報システム子会社にてアジャイル支援を経験

[主な資格]

- Disciplined Agile® Scrum Master (DASM)
- 認定スクラムマスター (CSM)
- 認定プロダクトオーナー (CSPO)

【その他活動】

- PMI日本支部 DAコミュニティ所属

【趣味】

- キャンプ
- 登山

会社概要

- 社名** 株式会社 MSOL Digital (英名 : MSOL Digital Co.,Ltd.)
- 設立** 2024年1月
- 代表者** 代表取締役 兼 CEO 阪本 幸誠
- 本社所在地** 〒107-6229 東京都港区赤坂9-7-1 ミッドタウン・タワー 29F
- 事業内容** デジタル変革支援およびアジャイルマネジメントのコンサルティングサービス
- ・ システムコンサルティング
 - ・ システム開発・システムインテグレーション支援
 - ・ ビッグデータとデータ分析支援
 - ・ Digital IT 領域における新規事業開発支援およびコンサルティング
 - ・ 組織改革, 業務改善におけるマネジメントコンサルティング
 - ・ 企業の合併・提携・営業権の譲渡に関する指導およびコンサルティング
- 従業員数** 114名 (MSOL Digital 単体)
- 出資比率** 株式会社マネジメントソリューションズ100%
- グループ会社** 株式会社マネジメントソリューションズ, 麦高隆管理咨询 (上海) 有限公司,
株式会社テトラ・コミュニケーションズ



2024年6月時点

Brand Purpose

デジタル∞マネジメントの変革力で未来をつくる

Mission & Vision

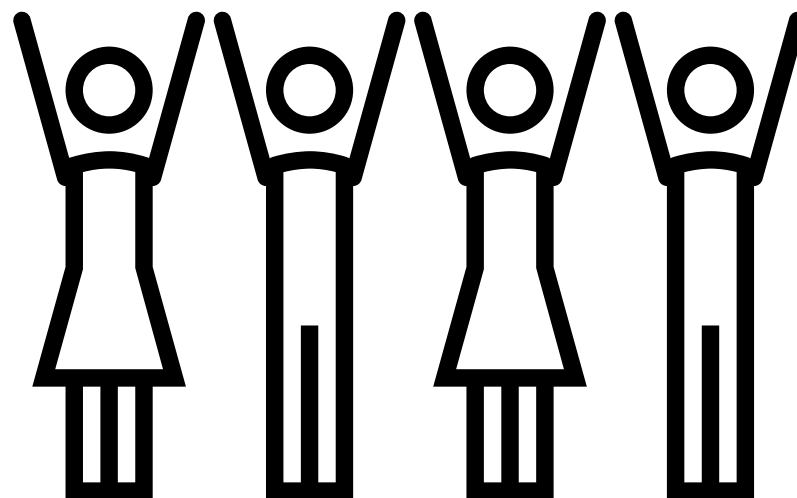
デジタルとマネジメントのプロフェッショナルとして
顧客・産業・社会の発展に資する
DXエコシステム共創のベストパートナーとなる

Concept

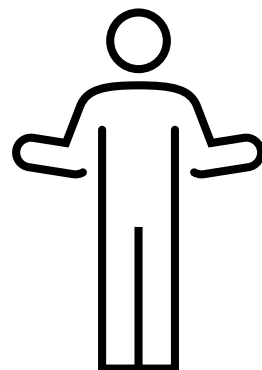
No.1 Business Agile Company

セッション内容

マネジメント、してますか？

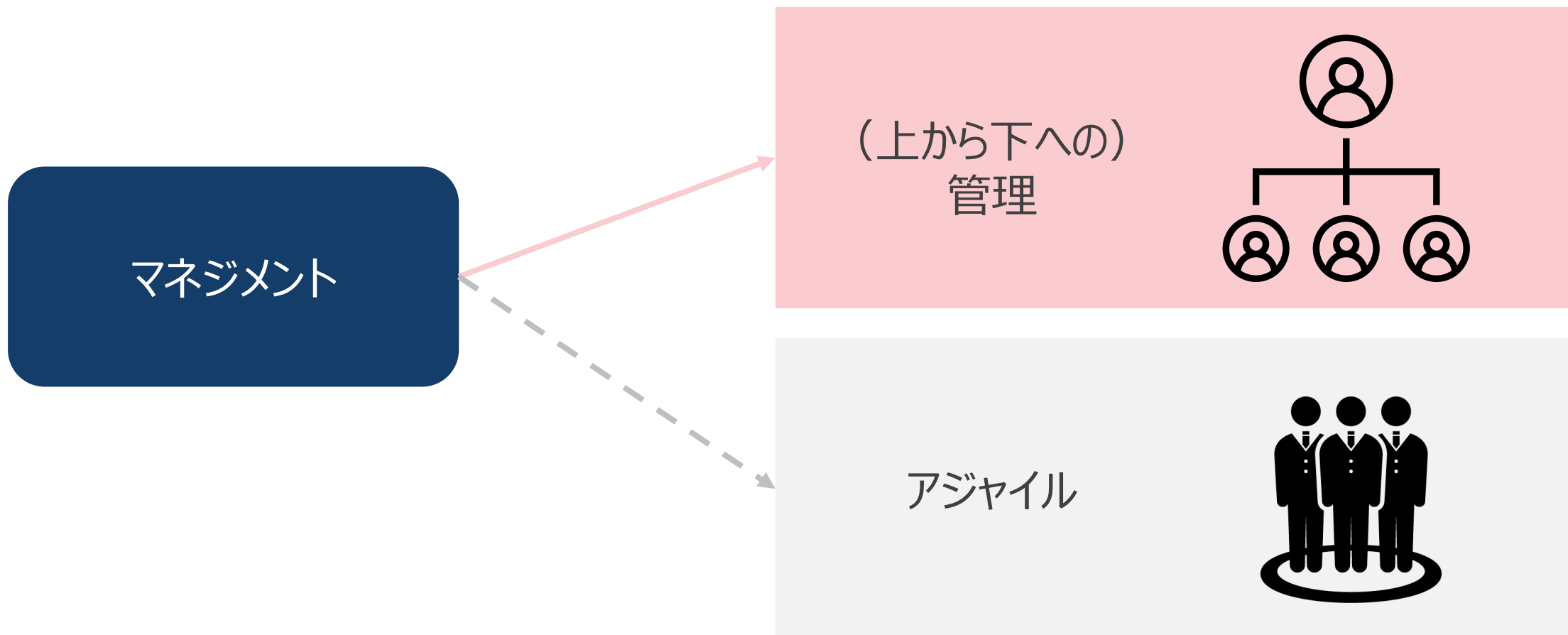


アジャイル、やっています！



マネジメントは…

「マネジメント」は「管理」と訳されることもしばしばあり、
自己組織化を掲げるアジャイルは一見、マネジメントと結びつきにくいモノにも見える



世の中の『アジャイルプロジェクト』をマネジメントすることでより良い世界になっていくと考える



×



ここでのアジャイルとは
どちらかといううまくいっていない
アジャイルプロジェクトを指す

MSOLグループとしての強み

アジャイルとマネジメントの
プロフェッショナルとして
顧客・産業・社会の発展に資する
アジャイルプロジェクトマネジメントの
ベストパートナーとなる

ミッション&ビジョンの達成

ラテン語の 'manus (手) ' ' agere (導く) 'に由来し、
野生馬の馴致 (なれさせること) を表す言葉として発展してきた (諸説あり)

manus + agere



手 + 導く

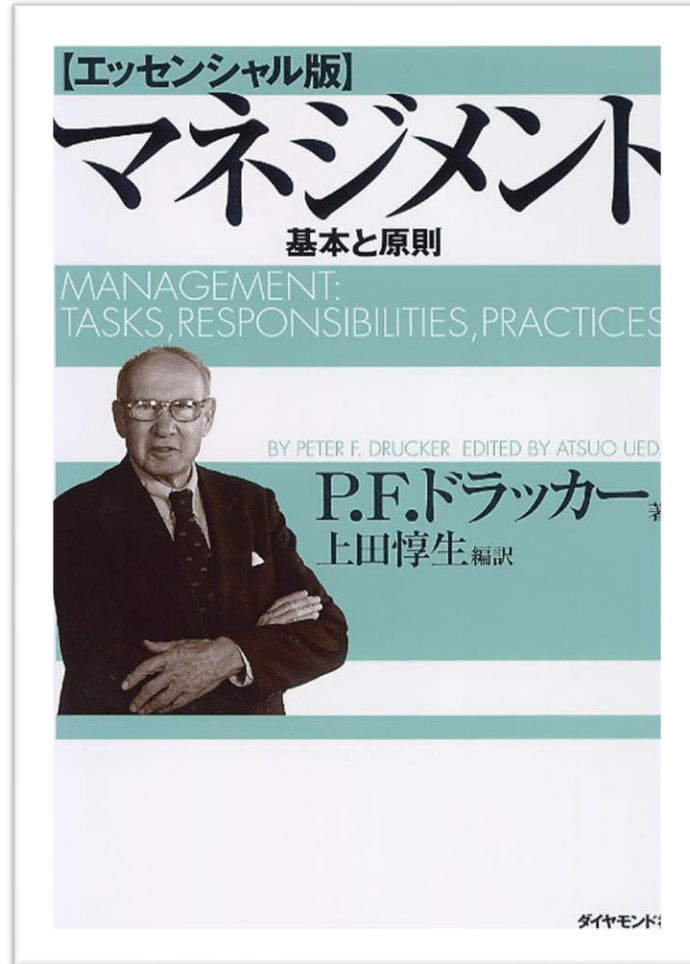
maneggiare



野生馬の馴致

Management

生まれ育った時代背景から人間関係や社会的絆が組織運営において重要な要素であると示している



ダイヤモンド社『マネジメント[エッセンシャル版] - 基本と原則』

人間関係や社会的な絆が
組織運営において重要な要素である

人々が自らの役割や位置づけを
持つことが重要である

マネジメントとは人のことである

コントロールが難しい事象に対して、人間中心のアプローチをしながら、目的達成に向けて何としてでも導くこと



コントロールが難しい事象に対して、人間中心のアプローチをしながら、目的達成に向けて何としてでも導くこと



「ガリラヤの海の嵐」レンブラント・ファン・レイン画
© Isabella Stewart Gardner Museum / Bridgeman Images

アジャイルをやろうとしても肌感覚でなんかうまくいく気がしない

フレームワーク
プラクティスの実践

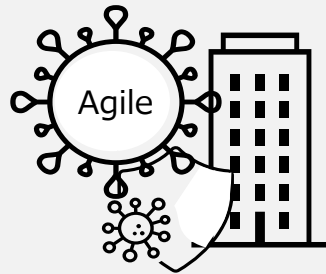
アジャイル資格の取得

他プロジェクトの事例の実践



分かっているけどビジネスを前進させることは難しい

アジャイルアレルギー



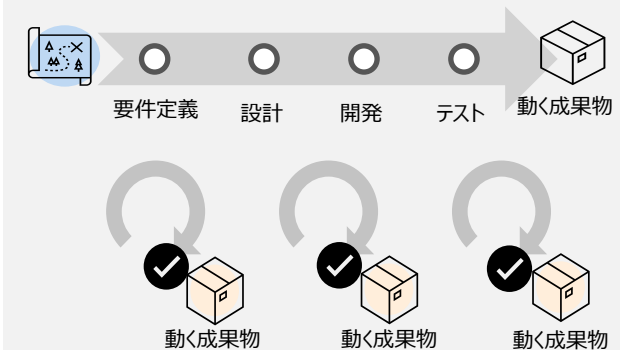
過去の失敗により会社
上層部からの反応が良くない
『アジャイル』というワードが
社内で使いづらい

教科書の神格化



教科書通りのフレームワーク、
プラクティスさえ行っていれば
うまくいくと思われる
(実際にはうまくいっていない)

ポジショントーク合戦



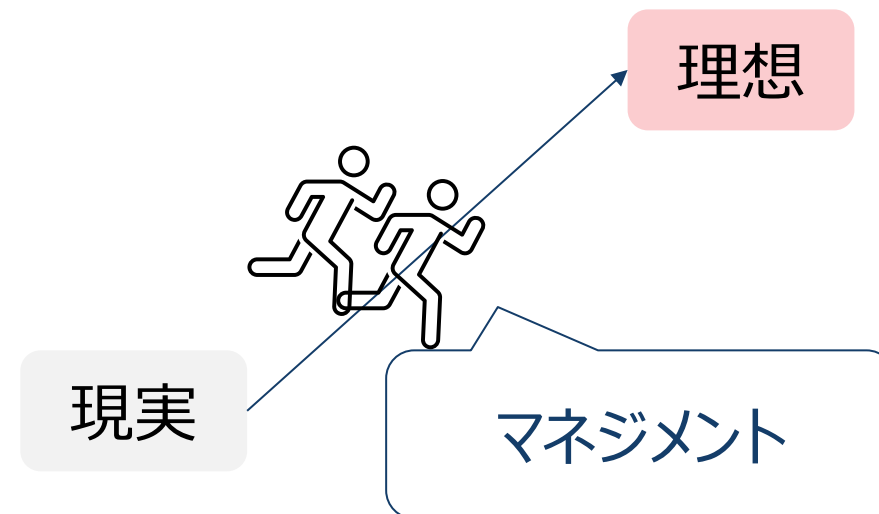
『アジャイルの考え方では
○○という資料は作成しない』
でもビジネス側は
『○○という資料が欲しい』

感情が入ってしまうので、正論っぽいことを言い合い始めても前に進まない

理想の現実の間にコンテキストとそこに存在する人がいる
そして、理想と現実を繋ぎ合わせるための機能としてマネジメントが必要になる



教科書やフレームワークだけの理解
方法論的なアジャイルでは対処できない領域
キレイごとでは片づけられない領域



コントロールが難しい事象に対して
人間中心のアプローチ・伴走しながら
なんとか前進していく

よりよいソフトウェア開発のやり方を見つけ出そうとしている過程にすぎない

アジャイルソフトウェア開発宣言

私たちは、ソフトウェア開発の実践
あるいは実践を手助けをする活動を通じて、
よりよい開発方法を見つけだそうとしている。
この活動を通して、私たちは以下の価値に至った。

プロセスやツールよりも**個人と対話**を、
包括的なドキュメントよりも**動くソフトウェア**を、
契約交渉よりも**顧客との協調**を、
計画に従うことよりも**変化への対応**を、

価値とする。すなわち、**左記**のことがらに価値があることを
認めながらも、私たちは**右記**のことがらにより価値をおく。

Kent Beck
Mike Beedle
Arie van Bennekum
Alistair Cockburn
Ward Cunningham
Martin Fowler
James Grenning

Jim Highsmith
Andrew Hunt
Ron Jeffries
Jon Kern
Brian Marick
Robert C. Martin
Steve Mellor

Ken Schwaber
Jeff Sutherland
Dave Thomas

© 2001, 上記の著者たち

この宣言は、この注意書きも含めた形で全文を含めることを条件に自由にコピーしてよい。

<https://agilemanifesto.org/iso/ja/manifesto.html>

よりよい開発方法を見つけ出そうとしている

We are uncovering better ways
of developing Software ...



自分が感じたモヤモヤを
解決できる方法が
マネジメントなのではないか
I'm uncovering better ways
of agile management

マネジメントを体現する上で大切にしているポイントがある

私の行動指針

あえて具体的な行動を紹介することは避けるが、右記の行動指針に基づき意思決定を行う。

アジャイル×マネジメントによる
プロジェクト成功に向けたベストパートナーとして
顧客・産業・社会の発展に資することができると思う。



圧倒的な当事者意識を 持つてものごとを捉えよう

モノごとに対して責任を持ち、主体的に働きかける。まずは自分自身に行動を促す。

キーワード：一蓮托生



最終的な価値実現に 資することは何でもやろう

価値の実現、目的の達成のために今何をすべきかを常に自問自答しできることを全てやる。

キーワード：皆がやりたがらない仕事はないか



現場の生の声を大切にしよう

それぞれの立場、それぞれの視点からの意見を尊重する。人間の複雑性を受け入れ結び付ける。

キーワード：変化を見過ごすな

マネジメントは泥臭い、だからこそ面白い



責任は大きいが権限は小さい

あなたのチームが締め切りを守れなければ**あなたの責任**です。（中略）
物事をさらに難しくしているのは、プロダクトマネージャーには組織面での直接的な**権限がほとんどない**ことです。

終わらせる必要があればそれがあなたの仕事

チームとプロダクトの成功のために、終わらせる**必要のあることは何でもする**のがあなたの責任です。（中略）さらに大変なのが、あなたがプロダクトマネージャーとして終わらせなければいけないことのほとんどは、**自分だけではできません**。

あなたが中心になる

プロダクトマネージャーは（中略）あらゆること**の中心**になります。
プロダクトマネジメントの成功は様々な視点やスキルセット、目的を持つ人たちとの日々のやりとりの積み重ねによるものです。（中略）

現実世界の厄介な人たちをつなげることがあなたの仕事です。

O'Reilly Japan『プロダクトマネージャーのしごと 第2版—1日目から使える実践ガイド』1章プロダクトマネジメントの実践 より引用

**泥臭くて大変で多くの人がやりたがらない
そんなことだからこそ価値があり面白い**

アジャイルにマネジメントが大事

さいごに

デジタル∞マネジメントの変革力で未来をつくる仲間を募集中！



私たちは、デジタル・マネジメントのプロフェッショナルとして、
変革の伴走者として企業に貢献したいと考えています。
未来を見通すことが難しい世の中で、私たちと一緒に「追求心」、
「探求心」を持ち、共に成長しつづける仲間を求めています。

【採用トップページ】



<https://www.msoldigi.com/recruit>

note

MSOL Digital
公式noteアカウント
はじめました。

採用情報ページにnoteの案内もありますのでぜひご覧ください。



デジタル∞マネジメントの変革力で未来をつくる